

## 平成 28 年熊本地震に対する被災地支援について

熊本地震の被災地では、14 日の前震に続き、16 日未明に発生した本震と、その後の余震により、被害が拡大しています。犠牲となられた皆様に対し、心から哀悼の意を表するとともに、被災された皆様、避難所での厳しい生活を余儀なくされている被災者の皆様にお見舞い申し上げます。

関西広域連合では、発災直後の 14 日に先遣隊を現地に派遣し、20 人規模の現地支援本部を熊本県庁に立ち上げました。現在、現地ニーズの調査や具体的な支援要請への対応を行っています。

今後、支援物資の提供、避難所対策、住宅対策や被災者の生活再建に向けた支援など、具体的な支援課題への対応について、構成府縣市と一体となって、積極的に被災地、被災者のニーズに応えていきます。

また、続く余震により不安を感じておられる被災者の皆様のために、広域避難の受入れも検討します。

今後も、状況の推移を見極めながら、関西広域連合構成団体が力を合わせて、被災者、被災地の一日も早い復旧・復興に向け、支援協力していきます。

平成 28 年 4 月 18 日

関西広域連合長（兵庫県知事） 井戸 敏三